

正月は七福神巡り

長谷川 修

七福神巡りがブームである。わが町池上にも本門寺の末寺からなる七福神があり、正月十日頃までは地図を片手に道を探している人を見かける。また各地で七福神巡りは盛んになり、ネットによると東京都で二五コースが拳がっている。

私の七福神巡り初体験は、三十年ほど前になる。当時正月明けの初出勤日は社長の挨拶と職場の懇親会で昼前に解散だったが、午後友人と連れ立って「谷中七福神」に出かけた。上野から谷中を通って田端まで歩くのは、正月のアルコール抜き、鈍った体の回復に最適だった。以来七福神巡りにはまり、現役時代には「隅田川（七福神を略、以下同じ）」「浅草名所」「日本橋」等を、退職後は「元祖山手」「東海」「池上」等を巡った。

このうち起源を江戸時代まで遡れるのは「谷中」と「隅田川」だけで、中でも江戸の香が残る「隅田川」は私の好きなコースだ。「隅田川」は、隅田川東岸を向島の三囲神社から鐘ヶ淵の多聞寺まで、三寺院、二神社、一庭園を巡る。江戸の化政期、日本橋の骨董屋佐原鞠塙は向島に隠居所を構えた。親しい文人たち（大田南畝、亀井鵬齋、加藤千蔭等）との交流の場として庭を整え百花園と名付け、また福祿寿を信仰したことから戯れに近所で七福神を定めた。

三囲神社を出発し北に向かい順番に歩いてみよう。

三囲神社には、其角が日照りに悩む農民のために奉納した雨乞いの句がある。

遊ぶた地（夕立）や 田を見めぐりの 神ならば

頭の字をとると「ゆ」「た」「か」と縁起が良く、作句の翌日に雨が降ったことで江戸中の評判となった。

長命寺は狭い所に雑然と多くの石碑がある。芭蕉の弟子は師のため境内に草庵を造ったが、ここで芭蕉が詠んだ句が有名な

いささら八 雪見にころふ 所まで

百花園は、草や木、花の多い所で俳句等の石碑が約三十基ある。白髭神社はすぐ近くだが、その先の多聞寺までは少し距離がある。若者はここから対岸の吉原へと急ぎ、

年寄りには 皆白髭で 撒くつもり

私もこのあたりで引きあげよう。